

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立富士見台小学校

【特別の教科 道徳】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業で自分の経験を振り返り、自己の生き方について深く考えることができる児童が増えてきた。 ・人との関わり方に課題（自分の思いをうまく言葉で伝えられない、相手のことを考えずに発言や行動してしまうなど）がある。 ・道徳的実践力については、紙面ではふさわしいことを書けていても、態度や行動が伴っていない場合がある。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りは習慣化した但、めあてに対する振り返りになっていないこともある。 ・児童の変容の見取り方、評価の仕方について各学年で統一する必要がある。 ・道徳性を高めるための指導を工夫する必要がある。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>◇自分の考えをもち、議論する力を育てるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心発問、振り返る場面において個々で考える時間を確保する。その後友達の考えを聴き、考えたことを伝え合う時間もとる。 ・普段の見取り、道徳の時間の児童の変容を踏まえた意図的指名をする。 ・導入と振り返りにつながりをもたせる授業作りをする。同様の内容項目を扱った授業を想起させたり、教師が意図的に発展的な発問をしたりして既習内容と関連させる。 ・発言だけでなく、ネームプレート、三色（四色）コーン、ミニホワイトボード、クロームブックなどの表現ツールを使うことで自分の考えや立場をはっきりさせる。 <p>◇道徳性を高めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に自分事として考えられるような発問や振り返りをする。 ・主人公に自我関与させて自分との関わりで考えさせる。 ・自己を見つめさせ、今までの自己の生き方を振り返らせる。 <p>◇児童の変容を見取った評価をするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座席表、ワークシート、日々の道徳授業の様子などを蓄積し、変容を見取る工夫をする。 ・定期的にその時間で見取った児童の成長を記録し、3学期での総合評価に活かす。